

SUMMARY

No052220

[MAY]が expire しました。

順調に進んでいることと思います。

ここで3月まで遡って振り返ってご覧ください。あれだけ激しかった RSC も落ち着いたところから見れば案外大したことではなかったと感じられるかもしれません。(“落ち着いたところ”とは3月初旬の大きな変化の渦中の局面と現在との比較における現時点という意味です。数値はまだ高水準で構造にはなおわずかな歪みがあり完全に落ち着いている状態ではありません。)3月の激しい変化の渦中にあっても落ち着いて数字を見るように伝えました。一時構造に大きな歪みが生じましたが数値の性質は全く変わっていません。“からくり”(私たちに収益ももたらす数学的原理)は健在です。

→ 日々の数値の変化に悩まされる

今週は特に“道具”について踏み込んで解説しました。

それを整理してご自分にとって使えるように工夫を凝らしてください。

ここは大事な糸でつながった

からくり(数の原理)

以下に今週のポイントをまとめました:

「道具」をみかく 忘れずに思い

これは技能の向上に下す。

上にのびあがります。

Paradigm Shift and Number Operation

パラダイムシフト(“paradigm shift”)と元来自然科学の中で提唱されていた用語でしたが、本来の意図からは誤解となるほどに拡大解釈されて一般化されて用いられ始めました。拡大解釈された「パラダイム」は「認識のしかた」や「考え方」、「常識」、「支配的な解釈」、「旧態依然とした考え方」などの意味合いで使われています。広義でのパラダイムシフトはこの過度な拡大解釈に基づいて都合よく用いられるため、厳密な定義は特になく「発想の転換」や「見方を変える」、「固定観念を捨てろ」、「常識を疑え」などから始まり「斬新なアイディアにより時代が大きく動くこと」まで、さまざまな意味で使われています。「パラダイムシフト」に触れるのは Number Operation が「経済とは無関係である。」ということを強調したかったからです。「Number Operation は“相場”ではない。」と執拗に幾度も繰り返して述べてきました。それは、「Number Operation は社会科学ではない。」=「Number Operation は自然科学である。」=「Number Operation で扱う数字(数値/価値)は需要と供給によって決まる価格ではない。」、という意味です。Number Operation とは直接関係がないように感じられるかもしれませんが、実のところ、本質的かつ深い意味において大いに関係があります。理論を超えて実践につながる話です。特に、VC のテーブルに含まれたそれぞれの数字(数値/価値)に対する見方や感じ方が変わるはずで、それは Number Operation の実践者である皆さんに Number Operation を仕事としてやっていけるというより明るい展望をもたらすはずで、

Virtual Reality and Number Operation

Number Operation とは「仮想現実」です。

「仮想現実」とは「情報空間」を意味します。頭(思考)で描いた世界です。

「マネー」はそのようなもう一つの現実(「仮想現実」=「情報空間」)の中で作られる産物です。

「質的情報」(ニュース、材料)

2-12 100% 量的情報 (数の情報)

情報に依存すること!

→ これは言葉による表現以上の深い意味をもっている。

“仮想現実”についての理解を求め研究に力を入れる。

Number Operation の深さや/わかりやすさ。